

広報

# ただみ

10  
2015 月号  
No. 545  
平成27年10月10日



平成26年度 決算報告……………2～7  
地域の絆を深める 町民運動会……………8～9

<News&flash>

只見の魅力伝える写真集を出版／

民具取蔵展示施設検討委員会を開催ほか…10～11

<町の話題>

角田登喜子さん(布沢)百歳賀寿ほか…12～13



## 今月の表紙

魚沼市と連携し両市町共通の代表的な観光資源である浅草岳などをデザインし、県境を越え地域がより強い絆で結ばれるようお願いを込めた「縁結び」ラッピング車両の出発式をJR只見駅前で9月19日に行いました。

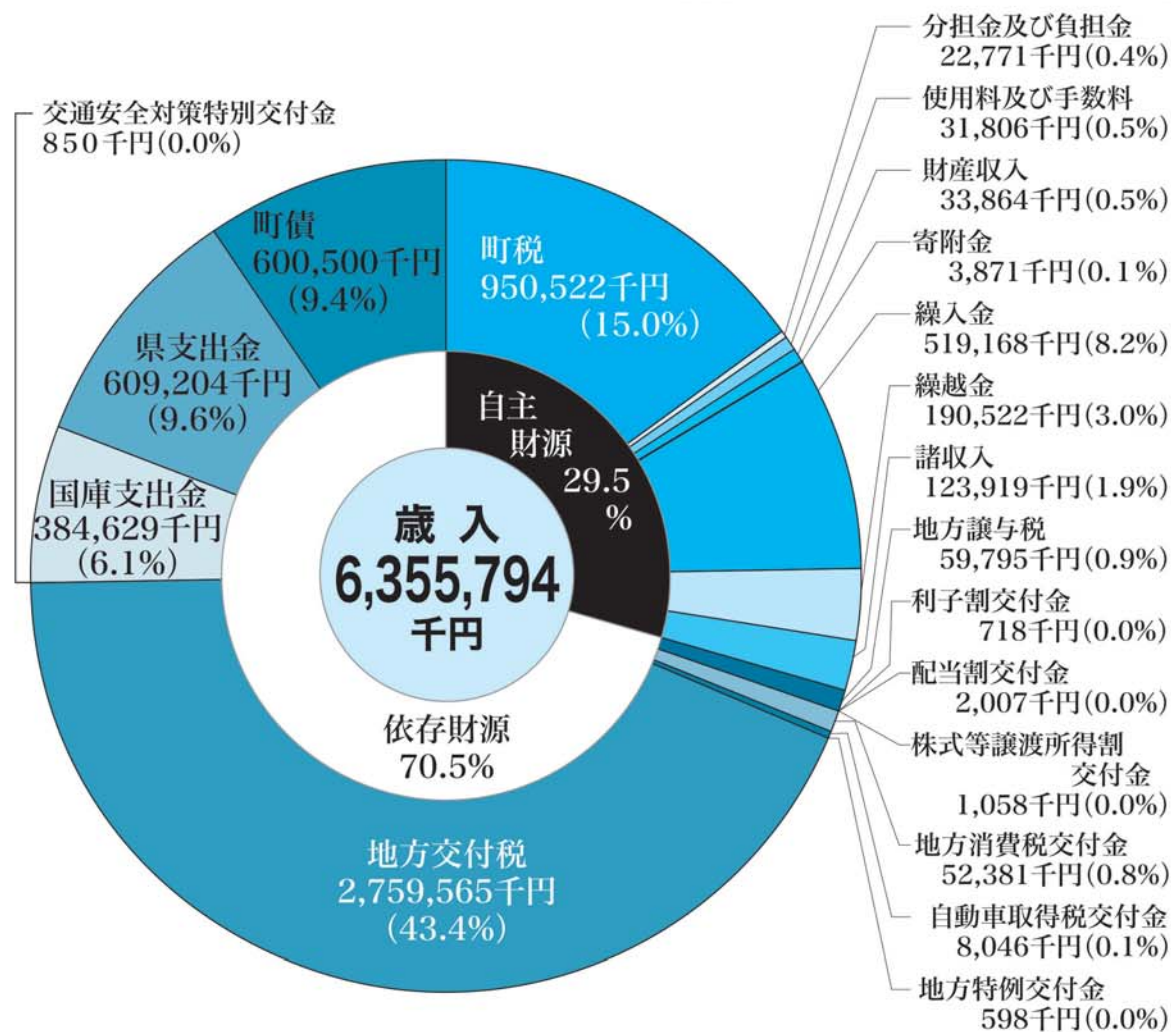
出発式は関係者によるテープカットのほか、天領只見仙嶽太鼓の演奏披露や町内3保育所の子ども達が1日駅長として出発を見送り、大勢の鉄道ファンなどが訪れました。ラッピング車両は平成29年9月末まで只見駅～小出駅間を運行予定です。





# 決算報告

皆さんが納めた税金や国・県からの補助金が、この一年間どのように使われたのかを普通会計を中心にお知らせいたします。これは只見町財政状況等の公表に関する条例に基づいて行うものです。



## 歳入

歳入の決算は63億5579万4千円で前年に比べ、4億4538万円減少しました。

歳入のうち、町税、分担金・負担金、使用料・手数料等、町が徴収できる自主財源は、18億7644万円で、前年度に比べ69万円減少しました。

自主財源の中で最も多いのが町税です。9億5052万2千円で、歳入全体の15%となり前年度に比べ1.7%減少しました。これは固定資産税にかかる大規模償却資産分の減によるものです。

自主財源に対し、地方交付税、国庫・県支出金、町債等、国や県からの交付や割り当てによる依存財源は、44億7935万1千円でした。

この依存財源の中で最も頼りになるのが地方交付税です。これは、どの地方公共団体も等しく

## 町税の決算状況

(単位:千円)

種類	前年度決算額	26年度決算額	伸び率
町民税	165,556	175,488	6.0%
固定資産税	755,646	732,323	-3.1%
軽自動車税	10,512	10,609	0.9%
町たばこ税	30,852	28,029	-9.2%
入湯税	4,757	4,073	-14.4%
合計	967,323	950,522	-1.7%

事務・事業ができるように、国税のうち所得税、法人税、消費税、酒税、たばこ税の一定割合を国から交付されるもので、決算額は、27億5956万5千円でした。歳入全体の43.4%を占め、前年度に比べ4.6%増加しました。

国及び県から交付された国庫・県支出金は9億9383万3千円で、前年度と比べて7億4788万円減少しました。これは災害復旧費負担金等の減によるものです。

町債は、施設や道路を整備するために借り入れるお金のことで、前年度より3億90万円多い6億50万円借り入れました。主に過疎対策事業債や辺地対策事業債を活用しました。



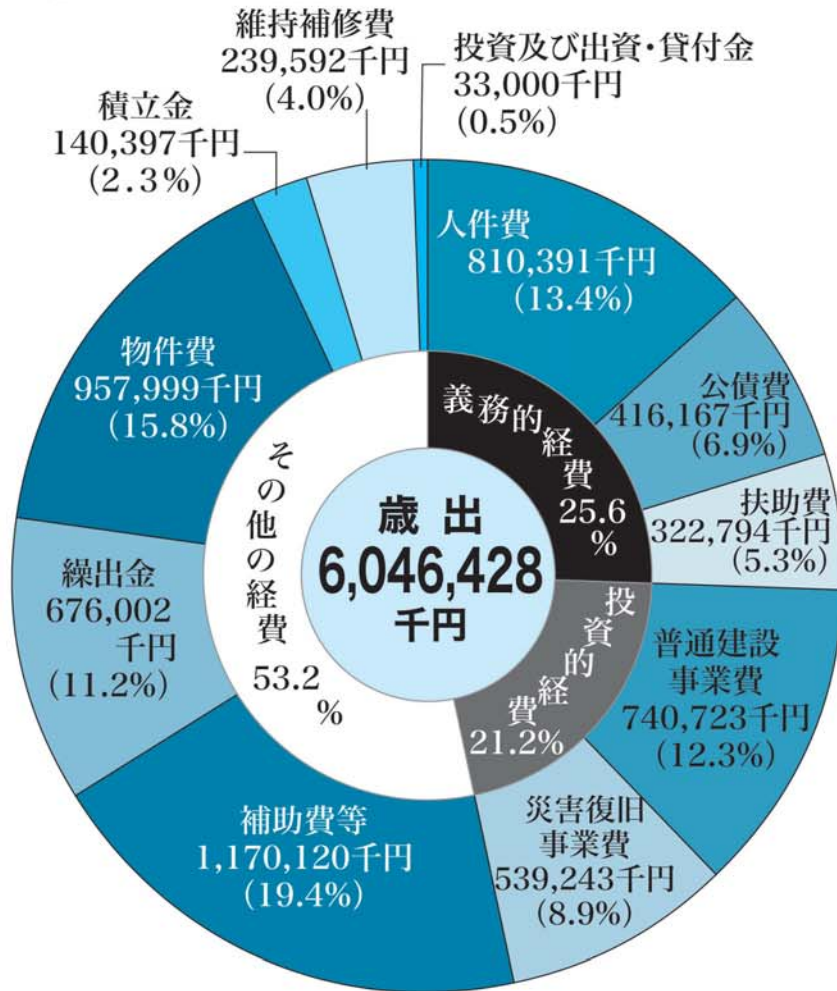
## 用語の解説(歳入)

- 町税**  
町民の皆さんから納めていただく町民税や会社の法人町民税、固定資産税などです。
- 使用料・手数料**  
町の施設の使用料や住民票などの交付の際の手数料です。
- 財産収入**  
各種基金利子や町の財産を売ったお金です。
- 繰入金**  
各種基金や他の会計から一般会計へ繰入れたお金です。
- 諸収入**  
他の収入科目に含まれない収入です。預金利子などがあります。
- 地方交付税**  
国で集めた税金(所得税、法人税、消費税、酒税、たばこ税)の一定割合を町の財政需要に応じて一定の基準のもとに国から交付されるお金です。どの地域に住む住民にも、一定の行政サービスを提供できるようにする財源です。
- 国庫・県支出金**  
事業を行うために、国や県から交付されたお金です。
- 町債**  
事業を行うために借入れたお金です。

## 用語の解説(歳出)

- 義務的経費**  
支出が義務付けられた経費です。人件費・扶助費・公債費がこれにあたります。
- 投資的経費**  
資産を将来に残すためのお金です。施設の建設や用地購入などがこれにあたります。
- 人件費**  
町職員の給与や議員報酬などです。
- 公債費**  
事業を行うために借入れたお金の償還金です。
- 扶助費**  
児童手当、障害者等への援助費など、法令に基づいて被扶助者に支給されるお金です。
- 普通建設事業費**  
道路や学校などの新增設のために使われたお金です。
- 物件費**  
旅費、電気料、郵便料、備品購入費などの消費的経費です。

# 町財政状況の公表



**歳出**

歳出の決算は60億4642万8千円で、前年度に比べ4億9422万円減少しました。予算に対する執行率は77.1%でした。各種団体に対する助成金や負担金などの補助費等は11億7012万円で、歳出全体の19.4%となり前年度に比べ4億5170万円増加しました。これは小規模介護施設整備補助金や広域市町村圏組合消防費負担金の増加によるものです。

町職員の給与や町議会議員、各種委員会報酬などの人件費は8億1039万1千円で歳出全体の13.4%となり前年度に比べ2322万円増加しました。

また、新潟・福島豪雨などによる災害復旧事業費は5億3924万3500万円減少しました。

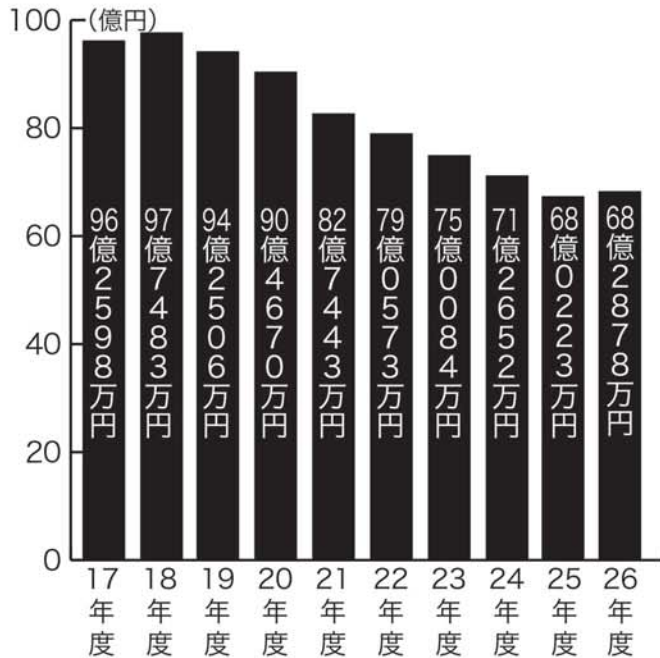
## 町民一人あたりにすると…

(平成27年3月31日現在の人口4,617人)

- 普通会計支出額 (使われたお金) …………… 1,309,601円
- 町税負担額 (納めていただいたお金) …………… 205,874円
- 貯 金 (基金に積み立てているお金) …………… 1,408,349円



## ■借入金残高の推移



## ■借入金の残高

(単位:千円)

会計名称	残高
一般会計	3,776,438
国民健康保険施設特別会計	277,881
介護老人保健施設特別会計	90,270
簡易水道特別会計	685,308
観光施設事業特別会計	4,206
交流施設特別会計	45,505
集落排水事業特別会計	1,949,169
合計	6,828,777

## ■財産の状況(一般会計と特別会計に属するもの)

種別	規模・残高
土地	4,101万8,205㎡
建物	7万8,351㎡
有価証券	9,058万5千円
出資による権利	2億3,811万6千円

## ■特別会計の決算の状況

(単位:千円)

会計区分	歳入	歳出	差引
国民健康保険事業特別会計	537,464	537,464	0
国民健康保険施設特別会計	413,085	411,653	1,432
後期高齢者医療特別会計	133,021	132,993	28
介護保険事業特別会計	613,169	606,389	6,780
介護老人保健施設特別会計	246,858	246,776	82
訪問看護ステーション特別会計	13,448	13,448	0
地域包括支援センター特別会計	9,617	9,617	0
簡易水道特別会計	256,541	256,434	107
観光施設事業特別会計	55,081	55,081	0
交流施設特別会計	67,286	67,286	0
集落排水事業特別会計	319,383	319,365	18
朝日財産区特別会計	11,617	468	11,149
合計	2,676,570	2,656,974	19,596

## ■基金(貯金)の概況

(単位:千円)

種別	残高
財政調整基金	1,192,025
減債基金	689,367
教育施設整備基金等 他の特定目的基金	3,509,544
土地開発基金 (土地保有を除く)	121,178
奨学基金等 他の定額運用基金	202,621
国民健康保険診療所運営基金等 他の特別会計に属する基金	787,614
合計	6,502,349

## 普通会計の 主な事業(目的別)

### ■総務費

役場新庁舎整備事業  
4,452万円

JR只見線全線再開通事業  
2,175万円

自然首都・只見地域づくり事業  
1,447万円

ユネスコエコパーク推進事業  
1,647万円

### ■民生費

高齢者等除雪支援事業  
2,455万円

福祉商品券給付事業  
463万円

子宝祝い金事業  
383万円

小規模介護施設等整備事業  
26,520万円

豪雨災害復興基金被災者生活再建支援金  
12,227万円

### ■衛生費

18歳以下医療費無料化事業  
1,291万円

南会津地方環境衛生組合負担金  
13,696万円

簡易水道特別会計繰出金  
5,475万円

国民健康保険施設特別会計繰出金  
9,618万円

### ■農林水産業費

中山間地域等直接支払事業補助金  
2,059万円

農工商風評被害対策事業  
1,274万円

農業基盤整備促進事業  
3,149万円

重点振興作物対策事業補助金  
1,249万円

■商工費  
プレミアム商品券発行事業補助金  
1,698万円

1,698万円

# 町財政状況の公表

## ▼財政健全化指標

指標	平成26年度決算	平成25年度決算	比較増減	早期健全化基準	財政再生基準
健全化判断比率					
①実質赤字比率	—%	—%	—%	15.0%	20.0%
②連結実質赤字比率	—%	—%	—%	20.0%	40.0%
③実質公債費比率	3.5%	3.7%	△0.2%	25.0%	35.0%
④将来負担比率	—%	—%	—%	350.0%	

※該当額または該当比率が算定されない場合は「—」と表示されます。

早期健全化基準…基準を超えると財政健全化計画の策定が義務付けられ、国への報告義務を負います。

財政再生基準……基準を超えると財政再生計画の策定が義務付けられ、事実上総務大臣の同意を得なければなりません。

指標	会計名	平成26年度決算	平成25年度決算	比較増減	早期健全化基準
⑤資金不足比率	簡易水道特別会計	—%	—%	—%	20.0%
	集落排水事業特別会計	—%	—%	—%	20.0%

※資金不足額が生じていない場合は「—」と表示されます。

## 平成26年度も

### 早期健全化基準を

### 下回りました

#### 【健全化判断比率・資金不足比率の公表】

地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）により、全ての地方公共団体において平成19年度決算から財政健全化にかかる各指標の公表が義務付けられています。只見町の各指標の状況は表のとおりです。

#### 財政健全化法について

現在の財政健全化法では、「早期健全化」と「財政再建」の2段階で財政悪化をチェックするとともに、特別会計や企業会計も併せた連結決算により地方公共団体全体の財政状況をより明らかにしています。

#### 健全化判断比率について

##### ①実質赤字比率

▽普通会計の実質赤字が標準財政規模に占める割合です。

▽昨年度に引き続き赤字が生じていないため、比率は算出されませんでした。

##### ②連結実質赤字比率

▽全会計の実質赤字が標準財政規模に占める割合です。

▽昨年度に引き続き赤字が生じていないため、比率は算出されませんでした。

##### ③実質公債費比率

▽借入金（地方債）の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示すものです。

▽只見町は、3.5%で、昨年度比0.2ポイント減となりました。

これは、町債の償環が進んだことによる元利償環金の減等によるものであり、早期健全化基準の25.0%と比較すると、これを下回っています。

##### ④将来負担比率

▽一般会計等の借入金（地方債）や将来支払う可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示すものです。

▽昨年に引き続き将来負担比率が算出されませんでした。

#### 公営企業の

#### 経営健全化指標について

##### ⑤資金不足比率

▽公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示すものです。

▽昨年度に引き続き資金不足が生じていないため、該当ありません。

#### 緊急雇用創出基金事業

#### 観光施設改修事業

5,006万円  
5,078万円  
6,880万円

#### 土木費

#### 町道除雪委託料

23,510万円

#### 除雪機械更新事業

3,748万円

#### 克雪対策事業補助金

2,274万円

#### 集会施設整備事業

1,432万円

#### 消防費

#### 消防団員報酬

1,640万円

#### 防災用無線LANネットワーク整備事業

24,656万円

#### 地域防災計画更新事業

1,592万円

#### 広域市町村圏組合消防費負担金

23,273万円

#### 教育費

#### 只見高校振興対策補助金

1,549万円

#### 進路応援給付金事業

457万円

#### 給食センター設備改修事業

1,386万円

#### 学校給食活用支援事業

598万円

#### 災害復旧費

#### 農地農業用施設災害復旧事業

4,832万円

#### 林道災害復旧事業

37,250万円

#### 公共土木施設災害復旧事業

8,870万円



# 平成26年度 「自然首都・只見」応援基金 事業報告

平成26年度の「自然首都・只見」応援基金は、只見町が目指す「まちづくり」にご賛同いただいた皆様から多くの寄附をいただきました。

平成26年度の基金事業の報告をさせていただきますので、引き続き、只見町の「まちづくり」へのご参加をお願いいたします。

## 1 寄附状況について

	延人数	寄附合計額
平成26年度 寄附状況	86名	2,345,531円

### 【内訳】

	寄附件数	寄附金額
(1) ブナを核としたまちづくり	19件	250,000円
(2) 雪と共存するまちづくり	11件	240,000円
(3) 次世代を担う子供たちの教育充実	23件	654,381円
(4) その他の事業	9件	444,973円
(5) 指定なし	38件	756,177円

## 2 寄附をいただいた皆様(公表を承諾された方のみ掲載)

住所	氏名	住所	氏名	住所	氏名
福島県	春待ち演芸会 代表 赤塚ミワ様	千葉県	山本修史様	東京都	広瀬裕子様
		茨城県	栗田厚美様	長崎県	山元崇様
東京都	小林直樹様	神奈川県	齋藤貴之様	東京都	相原佳政様
神奈川県	山中正子様	福島県	森林の分校ふざわ様	福島県	菅家満様
東京都	鈴木喜六様	福島県	榎呂建築事務所様	福岡県	二田哲博様
神奈川県	小泉滋様	福島県	植原等様	埼玉県	原田雅彦様
神奈川県	小泉文恵様	東京都	河井恭一様	宮城県	徳永順子様
京都府	鈴木有起様	東京都	酒井ハツエ様	千葉県	猪又かじ子様
神奈川県	長谷部利哉様	千葉県	荒川尚也様	茨城県	古川和男様
愛知県	横山勝則様	神奈川県	横山儀巳様	神奈川県	岡本敏子様
東京都	尾花美恵子様	埼玉県	目黒信様	神奈川県	目黒千代恵様
福島県	新國ツギ子様	東京都	馬場佑樹様	東京都	近藤一英様
埼玉県	三瓶勝利様	新潟県	田村秀様		
神奈川県	五十嵐光男様	福島県	鈴木隆司様		
福島県	上村道子様	神奈川県	渋谷俊徳様		

## 3 寄附金の使途

平成25年度以前にいただいた寄附金につきましては、平成26年度において1,807,578円を活用させていただきました。

### 【平成26年度 実施事業の概要】

#### ○ブナを核としたまちづくり

- ・ブナセンター備品整備事業

事業費 194,154円

事業概要 ブナセンターの図書購入

#### ○次世代を担う子どもたちの教育充実に関する事業

- ・小・中学校図書整備事業(只見あしながおじさん事業)

事業費 772,578円

事業概要 只見町内三小学校及び中学校に図書購入

- ・家庭劇場

事業費 462,888円

事業概要 児童劇公演の開催

#### ○その他の事業(高齢者福祉)その他の事業

- ・介護老人保健施設こぶし苑備品等整備事業

事業費 377,958円

事業概要 こぶし苑に電動車いす等の福祉備品を整備

# 町職員・特別職の給与

## 町人事行政の運営などの公表

町職員の給与は、国や県の勧告を基に町議会の議決を得て条例に基づき支給されています。今月は、町民の皆さんに一層のご理解をいただくため、そのあらましをお知らせします。この公表は、只見町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例によります。

### (1) 人件費の状況(平成27年度一般会計予算)

区分	歳出額 A(千円)	人件費 B(千円)	職員給与 C(千円)	人件費率 B/A	職員給与費率 C/A
27年度	6,830,000	921,620	539,668	13.49%	7.90%

⑨この表は町財政(歳出額)に占める人件費・職員給与費の割合を示しています。人件費(B)には常勤・非常勤の特別職、議員等に支給される給料、報酬などを含みます。職員給与費(C)は、人件費の内一般職員の基本給(給料、扶養手当)及びその他の手当(期末・勤勉手当、時間外勤務手当等)の支給額で、地方公務員共済組合負担金、退職手当負担金を除いたものです。

### (2) 職員(一般行政職)の平均給料月額及び平均年齢の状況

区分	平均給料月額	平均年齢
26年度	309,000円	40.9歳
27年度	318,000円	41.2歳

### (3) 職員(一般行政職)の初任給の状況

区分	高校卒	大学卒
26年度	142,500円	175,100円
27年度	146,300円	179,300円

### (4) 行政職の級別職員数の状況(平成27年4月1日現在：一般事務職【税務職、福祉職除く】)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
標準的な職名	主事・主事補等	副主査等	主任主査・主査等	班長等	課長等	参事等	
職員数	8人	9人	31人	8人	13人	2人	71人
構成比	11.3%	12.6%	43.7%	11.3%	18.3%	2.8%	100%

⑩行政職員の給料は職務の責任の度合いに応じて6級に分かれています。(平成18年4月改定)

### (5) 期末・勤勉手当の支給割合

区分	期末手当	勤勉手当
6月期	1.225月分	0.750月分
12月期	1.325月分	0.750月分
計	2.550月分	1.500月分

### (6) 特別職の報酬などの状況

区分	職	給料・報酬(月額)	期末手当(支給割合)	備考
給料	町長	576,000円	・6月期 1.475月分  ・12月期 1.575月分 計3.050月分	・町長の給料月額額は、平成25年4月1日より15%減額改定された額です。
	副町長	541,800円		
	教育長	514,800円		
報酬	議長	270,900円		
	副議長	209,700円		
	議員	189,900円		

### (7) 部門別職員数(各年度4月1日現在)

区分	種別 部門	一般行政部門								特別行政 教育	公営企業部門				合計
		議会	総務	税務	民生	衛生	農林	商工	土木		病院	水道	下水道	その他	
職員数	平成25年度	2	24	6	15	5	11	5	6	8	15	1	1	8	107
	平成26年度	2	29	5	15	4	11	5	7	9	14	1	1	8	111
	平成27年度	2	31	5	15	4	10	5	6	7	17	1	1	8	112
26年度:27年度比較増減			2				▲1		▲1	▲2	3				1
主な増減理由			新規採用による増				事業縮小		事業縮小	事業縮小	新規採用による増				

⑪部門区分は、国の定員管理調査基準による区分です。





# 地域の絆を深め町に活力を! 3地区で町民運動会を開催!!



只見・朝日・明和の3地区でそれぞれ年に1度開催している町民運動会が今年も9月20日に盛大に行われました。

町民運動会は、スポーツを通して交流や親睦を深め明るい地域づくりを推進する事を目的に各振興センターが行っている事業で、小さな子どもからお年寄りまで年齢・性別を問わず交流し親睦を深める事ができる只見町唯一のイベントでもあります。

競技は全ての年齢の方が参加できるように考えられており、参加する方はもちろん、応援する方も楽しめる内容になっているので会場では多くの笑顔が見られました。

生活習慣の違いなどで普段はなかなか交流できない方とも交流ができる運動会は、「人」と「人」とのつながりを深め、地域の絆もさらに深まり、それは町の活力にもつながるものだと思います。

残念ながら今年は運動会に参加できなかったという方は、ぜひ来年は運動会に参加していただき皆さんで今年以上に運動会を盛り上げましょう!





①・②・③番号順に只見・朝日・明和地区での綱引きです。③の明和地区の綱引きでは定期的に布沢地区を訪れ農作業などを行っている宇都宮大学のサークル「Dフレンズ」が助っ人として参加してくれました。④昨年優勝の山村留学生チームは今年は最下位となってしまいましたが来年に期待です！⑤今年も明和の区長さんの顔で見事な福笑いが完成！⑥朝日地区の粉の中から飴を探し出す種目は運動会の定番で見事に真っ白です!!⑦玉入れは大量得点のチャンス！⑧大人も本気で走った朝日の地区対抗リレー！⑨子ども達の熱烈な応援を受け縄よりも力が入ります⑩明和地区では美味しい南郷トマト早食い競争！⑪明和地区恒例の仮装で聖火入場。今年は進撃の巨人でした！⑫今年も発行した40年以上の歴史がある明和地区の運動会新聞「照ヶ丘タイムス」⑬只見地区運動会に「ころがしタル」は外せません⑭親子で選手宣誓ができるのは町民運動会だけです！



只見町の四季が写真集に

「自然首都」福島県只見町の四季」出版

只見町の美しい風景や魅力を伝える写真集「自然首都」福島県只見町の四季」の出版を記念して、8月28日に東京の銀座クラシックホールで出版祝賀会を開催し、関係者など約200名が出版を祝いました。

写真集は、15年以上只見町の自然を撮影してきた写真家の林明輝さんに協力をいただき、ブナの原生林や会津朝日岳など只見町を象徴する景色が魅力的に撮影され掲載されています。

写真集は最寄りの書店で注文することができます。



▲写真集を広げる林明輝さん(左)と目黒町長

50名が参加

3地区で敬老会を開催

9月13日、3地区それぞれで敬老会を行いました。今年は見見・朝日・明和地区でそれぞれ約200名の方を招き、招待者の健康と長寿を祝い婦人会の皆さんや保育所の子ども達も踊りなどを披露しました。また、各地区駐在所の警察官の皆さんによる、なりすまし詐欺のお話や寸劇なども行われ、詐欺被害防止を呼びかけました。

敬老会に招待された皆さんは非常にお元気で、飛び入りで出し物を行うなど盛り上がった敬老会となりました。



▲只見地区の敬老会のようす

只見の民具を活用

民具収蔵展示施設検討委員会を開催

8月28日、学識経験者や町民などが委員を務める只見町民具収蔵展示施設検討委員会による平成27年度第1回民具収蔵展示施設検討委員会が朝日振興センターで行われました。

会議では、民具収蔵展示施設整備事業にかかる経過説明と今後の方針が事務局の教育委員会から説明され、その後、委員から只見の民具の活用の仕方などについて意見が出され協議が行われました。

今後は、民具収蔵展示施設の基

本計画案について、検討委員会で協議していきます。



▲検討委員会での協議のようす

只見町民具収蔵展示施設検討委員会委員 (敬称略)

氏名	所属
佐野 賢治	神奈川大学歴史民俗資料学 研究科 教授
佐々木 長生	福島県民俗学会 会長
飯塚 恒夫	只見町文化財調査委員
新国 勇	只見町文化財調査委員
星 美弥子	会津只見考古館運営委員
目黒 良樹	会津只見考古館運営委員
佐藤 弘吉	大倉区長
山内 明生	明和自治振興会
菅家 忠	只見町観光まちづくり協会
今井 博	一般町民
齋藤 修一	教育長





▲更新されたCT装置

## さらに詳しい検査が可能に 朝日診療所CT装置を更新

朝日診療所で使用していたCT装置を9月に高性能なものに更新しました。CTとは、コンピューター断層撮影法の略で、現在このCT装置は画像診断に不可欠な医療機器となっています。

今回、朝日診療所で更新したCT装置は、人間ドックなどでも行う内臓脂肪が測れるようになり、以前の装置よりも短時間の検査で広範囲を細かく撮影することが可能となり、患者さんの負担も軽減され、病気の早期発見・診断にたいへん有用なものになりました。

中山楓さんは  
ホームステイ先でも  
楽しく過ごせたようです▶



◀八久保洋介さんも  
イギリスでたくさんの  
友達ができたようです

## 只見高校生2名が 夏休み期間中に海外短期留学

夏休み期間を利用して只見高校の八久保洋介さんと中山楓さんが約2週間イギリスへ短期海外留学をしました。これは、只見町と只見高校が連携して行っている事業で、留学費用などを町で補助しています。

留学を終え、八久保洋介さんは「海外の学校でたくさんの人と話し様々な事を学べ、とても良い経験をすることができました。」中山楓さんは「この留学では英会話の他、文化の違いなども学べ、とても大きな経験になりました」と話してくれました。



▲星木工所を見学する皆さん

## 海外との交流 只見ユネスコエコパークを視察

9月8日～9月10日の期間で、マレーシア、ブラジル、韓国より4名の方がユネスコエコパークとなった只見町を視察に来町されました。

現地視察として、只見町ブナセンターや、檜戸地区の観察林などを訪れ、ユネスコスクールに登録された、朝日小学校の授業なども見学されました。

今回の視察を終え、「帰国後、地域住民に日本の状況について話したい。また、只見町と今後もぜひ交流をしていきたい」と話されていました。



▲推進協議会のようす

## 第3回只見ユネスコエコパーク 推進協議会を開催

9月24日、只見町役場会議室で第3回只見ユネスコエコパーク推進協議会が開催されました。

会議では、まず、国内のユネスコエコパークの連携を促進する日本ユネスコエコパークネットワークへの参加が承認され、続いて推進協議会の諮問機関である支援委員会の委員へ福島県立博物館の小林めぐみ主任学芸員の選任が承認されました。最後に、只見町が今年度実施しているユネスコエコパーク関連事業の実施状況についての報告がありました。





▲ご家族と一緒に記念撮影

## 角田登喜子さん(布沢) 百歳賀寿 おめでとうございます

角田登喜子さんが、9月15日にめでたく満百歳の誕生日を迎えられ、ご家族の方同席のもと知事賀寿の贈呈式が同日自宅で行われました。

登喜子さんの長寿の秘訣は、食事を1日3回しっかりと好き嫌いせずに食べ、自分のペースで生活することだそうです。これからもお元気にお過ごし下さい。

## 第9回市町村対抗福島県抗軟式野球大会 惜しくも初戦敗退

9月19日、須賀川市の牡丹台野球場で南相馬市と対戦した今年の市町村対抗福島県抗軟式野球大会は、満塁などの好機にあと一本が出ず惜しくも敗れてしまいました。今年例年よりも練習を重ねてきただけに非常に残念な結果となりましたが、来年はこの悔しさをバネに好成績を残して欲しいと思います。



▲結団式に出席した選手の皆さん  
▲南相馬市との試合のようす



只見保育所



朝日保育所

## 成長した姿を披露 3保育所で運動会

9月15～17日、3保育所では運動会が行われました。悪天候のため朝日保育所は室内での運動会となりましたが、どの保育所の運動会にも多くの町民の皆さんが応援にかけつけました。また、保護者の皆さんは運動会を通して子ども達の成長を感じているようでした。



明和保育所



## 交通事故防止を呼びかけ 小学校交通安全 鼓笛パレード

秋の全国交通安全運動期間（9月21日～30日）にあわせ各小学校で鼓笛パレードが行われました。今年は何の地区も天候に恵まれ、沿道に集まった多くの町民の皆さんなどに鼓笛の演奏を通して交通事故防止を呼びかけることができました。



只見小学校



朝日小学校



明和小学校



▲開会セレモニーとして福餅まきが行われました

## 今年は記念すべき10回目の開催 只見ウキウキ わいわいフェスタ

9月6日に只見地区の恒例となっている只見駅前通りウキウキわいわいフェスタが行われました。今年には記念すべき10回目の開催で、喜多方市を拠点に活動を行っているKIRA☆GIRLのステージショーや抽選会では豪華賞品も用意され、多くの方が楽しめた1日となりました。

## 只見線沿線住民の活性化と親睦 第1回只見線応援 ソフトボール大会

9月13日、魚沼市立守門中学校のグラウンドで第1回只見線応援ソフトボール大会が行われました。この大会はソフトボールを通して、地域の宝である只見線の存続と沿線住民の親睦などを図る事を目的に「だんだんども只見線沿線元気会議」の主催で行われ、今年は8チームが参加し親睦を深めました。



▲只見町の「つながれつながれ只見線」チームが見事優勝を掴みました！



## 広報たのみ診療所

朝日診療所  
所長 若山 隆



### 「インフルエンザワクチンの効果」

稲刈りの時期となり、すっかり肌寒い季節になりました。みなさんお体を冷やして体調をくずさないように気を付けてくださいね!

先日、何気なくニュースを見ていると、気になるタイトルの記事がありました。8月30日付の毎日新聞の記事で「インフルワクチン:乳児、中学生に予防効果なし」というものだったのです。びっくりして詳しく読み進めてみると、研究方法に少し問題があるようでした。記事中にはこう書かれていました。

「2013年11月～14年3月、慶応大の22関連医療機関を38度以上の発熱があつて受診した6カ月～15歳のデータを分析した。インフルエンザへの感染の有無とワクチン接種の有無を調べ、「A型」「B型」などインフルエンザの型ごとに発症防止効果を計算した。」「その結果、乳児と中学生に予防効果がなかった。」

発熱で受診した小児は4,722人になったと

のことで、研究した方は大変だったでしょうねえ。頭が下がります。

しかし、この研究方法は不十分です。ワクチンの効果を正しく検証したいなら、『ワクチンを接種した子供と接種していない子供がどれだけインフルエンザを発症しなかったのか?も調べ、その効果を検証』すべきです。発熱している子供だけ調べても、正しい予防効果が確認できたとはいえませんよね?

世界ではそうした詳しい研究結果が既にだされておられ、それらを検証したうえでアメリカ疾病予防管理センター(CDC)や厚生労働省も生後6か月以降のすべての方にインフルエンザワクチンが有効であると述べています。自分だけでなく、周りにいる家族、さらには只見地域全体への感染も予防するため、ワクチンは積極的にうけることを診療所としてもお勧めさせていただきます!!

## 地域おこし協力隊として vol.13 只見町教育振興協力隊 末谷 広大

### 『只見高校・只見町山村教育留学制度さらに人気上昇↑↑』

こんにちは、只見町教育振興協力隊の末谷です。9月26日(土)、27日(日)に、26日の只見高校体験入学に合わせ奥会津学習センター(寮)説明会を行いました。今年度は例年になく参加希望者が増加したため、毎年視聴覚室で行っていた高校の説明会は、場所を体育館に移し巨大スクリーンを使用して実施しました。また、土曜日だけ行っていた奥会津学習センター(寮)の説明会も土曜日と日曜日とに分けて行いました。

只見高校の体験入学には120名以上の方

が参加され、奥会津学習センター(寮)の説明会にも30組以上の方に参加していただきました。たくさん関係各所の方々のご尽力は勿論肌で感じておりますが、年度初めよりHPの更新や県内外中学校への訪問、柏市・新宿区での説明会と様々な広報活動を担当してきこともあったか、非常に嬉しく感じております。

今後は広報だけではなく、更に現在の只見町山村教育留学生の資質向上に力を入れていきたいと思っております。



## 書物の郷・只見（最終回）

### 只見の古籍コレクション



▲借りて読まれた石伏の『平家物語』江戸初期版本

明治以前に書写または木版刷りされた古い書物のことを古典籍とよんでいます。天皇家・公家・大名・寺社では、貴重な書物を集めて、文庫（古典籍コレクション）を作っていました。そのために古典籍は大都市に集中しています。したがって、古典籍を調べる時には、それらを収めている図書館や文庫（古典籍コレクション）に行き、収蔵庫から出してもらい閲覧することになります。また、都市ではなく村落にも、屋敷内に文庫蔵や書院の間を持つ有力者や知識人がいました。しかし、只見町では、文庫蔵を持つような家ではなくても、村落の家々に古い書物が残されています。平成二十六年から只見町教育委員会では神社仏閣悉皆調査事業を行っていますが、その調査からたくさんのお宝がみいだされています。

旧修験寺院では、檜戸・山崎行弘家の龍藏院に約二八〇点、只見・五十嵐義博家の吉祥院に約一五〇点、塩ノ岐・清水タカノ家の和光院に約三〇〇点の書物があることがわかりました。医家であった黒谷・原田拓夫家には約一〇〇〇点の書物があり、約六〇〇点の書物が残されています。そのほか、只見・藤田佐武郎家に約三〇〇点、蒲生・馬場信雄家に約二五〇点、坂田・飯塚吉次家に約一〇〇点、只見・五十嵐忠弘家に約八〇点、国重要有形民俗文化財に指定されている「会津只見の生活用具と仕事着コレクション」に約八〇〇点の古い書物や巻物が残されています。

梁取・成法寺の本堂には、大正十三年『武田祖梁師寄附物品品細書物之部』が掲示されています。寄贈書約一五〇点のうち、今回の調査で約四〇〇点が現存することがわかりました。明治・大正期の住職だった武田師が書物を残そうとした意思がうかがえます。家ごとの書物の所蔵数は少ないとしても、只見町全域で見れば合計約七〇〇点にもなります。只見町全体が一つの「古典籍コレクション」であり、只見町は「書物の郷」であったといえます。みなさんの家で、古い書物がありましたら、ぜひ町教育委員会へお知らせください。



▲武田祖梁師が寄贈した成法寺の書物

### 持続する書物文化

只見町では、古い書物が生活の中で利用され続け、その結果として書物が残されました。石伏集落に残る『平家物語』（もと一二巻、現存一〇巻）は、正保三（一六四六）年に出版された版本です。『平家物語』は中世には写本で伝えられ、江戸時代初期には古活字版・片仮名整版本・平仮名整版本が出版されました。石伏の『平家物語』は、寛永版本に次ぐ初期の平仮名整版本です。『平家物語』の流布本が、江戸初期に山間地に流布していたのです。その書き込み

には「右此本、何方へ参候共、御読之後は、持主方へ御返可被下候、石伏村 彦次右衛門」とあります。「お読みの後は」とあるように、どうぞ読んで返して下さいというので、現存する『平家物語』は、くたくたにやつれていきます。貸し借りして長い間読み継いできたためです。それは、持続した書物文化があった証です。

### 自然と文化が共生する 持続可能な社会

只見町は、多雪が育んだ自然と人々の生活・文化が共生していることが認められて、只見ユネスコエコパークに登録されました。このことは、只見町の書物文化についても同じことがいえます。古い書物を捨てずに残してきたのは、書物の背景にある伝統的文化を保持し、持続して活用してきたからです。文化は古いものも含めて多様な存在であり、簡単に投げ捨てるようなことがあってはなりません。古い書物をじっくり調べていく中で、過去から未来へのメッセージが見いだされたいと思われ





# 町民文芸

## 只見短歌会

八月詠草

大塚栄一

指導

漸くに日ざし傾き肩越しに初秋の風吹き入りてくる

関谷登美子

極まれる暑さに耐へて書きをればみんなん蟬の声に疲るる

古川 英子

猛暑日の続きで乾く裏庭に秋海棠は花咲かせたり

馬場 八智

研ぐ暇もなく切れわるき包丁に思はず右の指を傷つく

新国由紀子

雷鳴と大粒の雨に煙る野の鳥は鳴きやみ身を潜むらし

小倉キミ子

従弟妹らの新盆迎ふると割りし松焚きつつ高き灯笼見上ぐ

渡部ゆき子

時経ちて色の褪せゆくふぢばかまの向き変へやれば趣の出づ

目黒 富子

お茶を飲む時間も惜しく動きみて見なれし眺めにふと目をとめる

渡部ヨリ子

暫くはリフォームのためこの部屋より出れぬと娘は食事を運ぶ

新国 洋子

(出詠順)

## 只見俳句会

九月例会

目黒十一

指導

盆終わり時計の針は日常に  
夏の海一直線に切るポート

修 一

ギラギラと炎暑を刻む血圧計  
日焼子の宿題残るノートかな

都

花売り女庭の庭園誉めて行き  
宝拾う老若男女運動会

一 穂

秋の峰寄りそう家は霧の中  
彼方より秋風匂う散歩道

味代子

道行くや山百合の香のいずこより  
墓詣帰りの道は無言にて

敦 子

いわし雲身辺整理はじめねば  
長雨の過ぎたる稲のなめりかな

恒 夫

目の限り野山の錦朝日光  
球飛ぶや日毎色づく秋の芝

吉 児

隠し彫りのうさぎ波間に秋あかね  
神木の木肌ひとときわ涼新た

礼

眼前にひろがる田の面雲の峰  
遠いほど思い出される蓮の花

邦 男

凌霄の花咲く家の忌中札  
墓石を噛む空蟬の素顔かな

順 子

あかあかと村じゅう灯る盂蘭盆会  
盆路を刈りいくたびか振り返る

リウコ



# 今月のお知らせ

## 電話番号

総合政策課 地域振興係 財政係	☎82-5220
総務課 総務係 職員係	☎82-5210
町民生活課 税務係 町民係	☎82-5110 ☎82-5100
保健福祉課 保健係 福祉係	☎84-7005 ☎84-7010
農林振興課 農政係 林政係	☎82-5230
観光商工課 観光係 商工係	☎82-5240
環境整備課 地域整備係 生活環境係	☎82-5270 ☎82-5280
会計室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所 (歯科)	☎84-2221 ☎84-2612
訪問看護ステーション	☎84-2130
こぶし苑	☎84-2101
只見振興センター	☎82-2141
朝日振興センター	☎84-2111
明和振興センター	☎86-2111

## 募集

### 第33回 南会津地方統一防火標語

平成27年秋の火災予防運動の一環として、管内の住民の皆さんから「防火標語」を募集します。最優秀作品は南会津地方統一防火標語として防火ポスターをはじめ広く活用されます。

- 募集期間  
10月26日(月)～11月14日(土)
- 募集対象者  
南会津管内に在住の方
- 募集テーマ  
火災予防に関するPR標語
- 応募方法  
「官製はがき」または、電子メールで防火標語(それぞれ1

通につき標語5点まで)を書き住所、氏名(ふりがな)、年齢、職業、電話番号を必ず明記のうえ、次の宛先に送付または送信して下さい。  
なお、お一人で何通応募されても結構です。

- 応募先  
〒967-0004  
南会津郡南会津町田島字西上川原乙65  
南会津地方広域消防本部内  
南会津消防設備協会  
「防火標語」係  
メールアドレス  
boukahyongo@live.jp

### 表彰

- 表彰  
南会津消防設備協会々々長賞  
1点(賞状及び記念品)  
南会津地方纏会々々長賞  
1点(賞状及び記念品)  
優秀賞  
8点(賞状及び記念品)

### 発表

新聞紙上で発表するとともに、入賞者には直接通知いたします。

### その他

同一作品は、抽選により選ばれます。また、応募された作品はお返しいたしません。

### 問い合わせ

- 問い合わせ  
南会津消防本部予防課内  
南会津消防設備協会  
☎0241(62)2141

## お知らせ

### 10月は「不正軽油撲滅」です

県では、10月を「不正軽油撲滅強化月間」と定め、関係団体と協力して、不正軽油の排除に取り組んでおります。

「不正軽油を作らない・売らない・買わない・使わない。」  
不正軽油の防止・撲滅には、県民の皆様のご協力と情報提供が欠かせません。不正軽油の情報提供につきましては、県庁税務課または最寄りの地方振興局県税部までご連絡ください。

### 問い合わせ先

- 問い合わせ先  
〈県庁総務部税務課〉  
☎024(521)7205  
FAX024(521)7905  
メールアドレス  
zeimu@pref.fukushima.jp

- 問い合わせ先  
〈南会津地方振興局県税部〉  
☎0241(62)5214  
FAX0241(62)5219  
メールアドレス  
minamiaizu.kenzei@pref.fukushima.jp

## 税 今月の納期

10月26日までに納めましょう

- 固定資産税(3期)
- 国民健康保険税(4期)
- 介護保険料(4期)
- 後期高齢者保険料(3期)
- 農集排使用料(10月分)

### 只見学クイズ

只見おもしろ学ガイドブックをご覧になってますか？  
皆さんに只見学に触れていただく機会、また12月12日に行われる検定の受験準備として、ガイドブックの内容をクイズ形式で出題します。

- 第1問  
昭和38年7月に国の重要文化財に指定された、梁取集落にある建物は何でしょうか？  
(答)成法寺観音堂
- 第2問  
六十里越(国道252号、魚沼市―只見町間)が全線開通したのは昭和何年ですか？  
(答)昭和48年



## 秋の行政相談週間 『行政相談所開設』

10月19日(月)～25日(日)の1週間は「行政相談週間」です。

行政相談は、役所(国、県及び市町村)や特殊法人などの仕事に関して、苦情や困っていること、心配なこと、分からないこと、要望したいことなどについて相談に応じ、その解決をお手伝いするものです。

只見町では、行政相談週間中も、行政相談委員が自宅などで相談に応じているほか、次のところで行政相談所を開設します。

### ●日時・場所

10月19日(月)

・午前10時～正午

朝日振興センター

・午後1時30分～午後3時30分

只見振興センター

### ●只見町の行政相談委員

菅家三保子さん

只見字雨堤

1054番地の2

☎82-2192



## 町長の手帳

### 町長スケジュール (9月分)

- 1日 職員辞令交付、市町村野球只見町チーム結団式
- 2日 南会津を拓く最重要要望活動・南会津郷友会(福島市)
- 3日 一般質問検討庁議
- 5日 皆川雅舟遺墨展(郡山市)
- 6日 会津縦貫北道路開通式・祝賀会(会津若松市)
- 8日 只見町議会9月会議(～18日)  
JICA海外視察表敬訪問
- 13日 朝日地区敬老会
- 15日 角田登喜子さん百歳賀寿贈呈式
- 18日 ユネスコエコパーク連絡調整会議
- 19日 ラッピング車両出発式(只見～小出)
- 24日 エコパーク推進協議会
- 26日 奥会津学習センター見学会(～27日)
- 30日 防衛白書説明会、  
南会津会評議員会・理事会(南会津町)、  
鈴木副知事との意見交換会(福島市)

### 「新庁舎建設に向けて」

9月20日、3地区で町民運動会が開催されました。各地区町民が一堂に会する年に一度の機会です。参加することに意義がありとも言えども生まれれば本気になり日頃の体力を越えて前のめり気分いっぱい、交流も深まり楽しい一日となりました。明和地区の運動会では、伝統の「照ヶ丘タイムス社」が設置され新聞が発行されます。会場の様子、人物紹介、集落や地域の取り組みさらには国政問題まで今年も22号まで発行され、中学生の手によって会場に配布されました。

さて、その中で新庁舎建設の成り行きに心配とありました。予定建設費用14億円に対して入札金額と5億円近くの差が生じ入札不落となったため今後の取り組み、進捗を心配されるものでありました。その原因として手間のかかる構造部分、工期や共通仮設費など複数の要因が重なったのですが、現在不落となった原因を踏まえ、一部設計変更も含めて次回入札に向けて取り組んでおります。

少子高齢化、人口減少を迎え庁舎はじめ公共施設建設については熟慮を重ねて対処しなければならないことは十分承知しております。しかしながら、築後57年が経過し耐震性も脆弱であり防災拠点として1日も早い庁舎完成が求められていることも事実であります。町民の皆さまが集い地域振興を図れるエコでコンパクトな庁舎建設に向けて務めてまいります。

収穫時期を迎え、良い秋空が続くことと、実りが豊かであることを願っております。

只見町長 目黒 吉久



# 町民の消息

(8月26日～9月25日届出分) 敬称略

## ■お誕生日おめでとうございます

佐藤 慶治 (男/雄助・郁与) 只見

## ■おくやみ申し上げます

三瓶 吉也	78歳	蒲生
佐藤 恭行	85歳	大倉
横山 富子	90歳	楢戸
三瓶 元吉	84歳	蒲生
菅家 正雄	58歳	布沢
梁取 ヤエコ	85歳	長浜
目黒 イクヨ	99歳	黒沢
馬場 照子	77歳	塩ノ岐
堀 金芳本	89歳	長浜
須佐 泉	82歳	八木沢
藤田 ツル工	95歳	只見
吉津 廣一	93歳	黒谷

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

# 人のうごき

平成27年9月1日現在

人口	4,468 (-2)
男	2,174 (±0)
女	2,294 (-2)
世帯数	1,798 (+1)
高齢化率	43.9%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 5 転出 3 出生 2 死亡 6

## あとがき

▽9月はラッピング車両出発セレモニーに町民運動会と「人」と「人」との結びつき「絆」を強くするイベントがありました。現代は個人の趣味も多様化し、一つの目的のために集まるという事は減ってきていると思いますが、ラッピング車両に乗るといふ事を目的に只見線沿線地域の方たちだけでは無く、日本全国からお客さんが来てくれればと思います。また、JR只見駅のすぐ近くには縁結びのパワースポット「三石神社」もありますので、三石神社を訪れる際は、この車両に乗って頂ければ縁結び成功間違いなしです！

(吉津)

生涯学習推進員  
大束由佳

朝日振興センター  
図書室 ☎84-2059

# おすすめ新着図書

## ★朝が来る



辻村深月 / 著 (文藝春秋)

親子3人穏やかに暮らす栗原家に、ある朝かかってきた一本の電話。電話口の女性は「子どもを返してほしい」と言います。不妊治療という辛い闘いの末に「特別養子縁組」を選んだ夫婦。一緒に暮らしたいと願いながら生き別れとなった親子。一本の電話から始まるこの物語は、親

と子、女性の葛藤を丁寧に描いています。

どんな結末を迎え、朝を迎えるのでしょうか。

## ★オニじゃないよおにぎりだよ



シゲタサヤカ / 著 (えほんの杜)

人間たちの作ったおにぎりはおいしくない!と、オニたちはおいしいおにぎりを人間に食べてもらおうとします。しかし、オニというだけで、みんな怖がり逃げてしまいます。どうやったら食べてもらえるだろう...と考えるオニたち。

子どもたちの苦手なオニをユーモアあふれる容で面白く描いている作品です。

★その他にも図書室にはたくさんの本が置いてあります。リクエストも随時受付けていますので、ぜひご利用ください。

1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう

1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう

1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう

1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう

1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう





## ニホンカモシカ (学名: *Capricornis crisupus*)

[ウシ目 ウシ科]



▲旅行村で撮影されたニホンカモシカ(2015年7月21日)



▲ニホンカモシカのツノ(標本提供 新国勇氏)

ニホンカモシカは、只見町の全域に生息しておりとても馴染み深い動物です。日本固有種であり国の特別天然記念物に指定される前は、只見町ではツキノワグマとともに重要な狩猟の対象でした。只見町では、アオシシやクラシシ、クラッポーと呼ばれています。

ニホンカモシカといいますが、シカではなくウシ科です。シカと異なり群れは作らず、単独で木の葉や草を食べて暮らします。ツノもシカと違いオスとメスの両方に生え、生え変わることもあり

ません。そのためにツノの根元にできるシワの数で年齢がわかります。標本写真のカモシカの角は、シワの数から少なくとも9歳以上です。

ニホンカモシカは森林内の他にも山の斜面や崖の近くにもよくいます。また、雪に強く積雪が多い場所でも生きていけます。冬には雪の積もった山の斜面をよく見てみてください。雪を掻き分けてたくましく進むカモシカが見られるかもしれません。

詳しくは、  
只見町ブナセンター  
までお問い合わせ  
ください

企画展示 「昔の写真から見た只見町」 10月～11月

虎ノ門生態学研究会  
公開講演会 「ブナ林の自然史—生物多様性とその周辺—」  
日 時：10月10日(土) 午後1時55分～午後5時10分  
場 所：朝日振興センター

エコパーク国際交流  
事業講演会 「台湾原住民の伝統的、持続可能な生活文化」  
日 時：10月18日(日) 午後1時30分～午後3時  
場 所：朝日振興センター

ブナセンター講座 「ニセアカシアの生態と管理—外来種の脅威!—」  
日 時：10月24日(土) 午後1時30分～午後3時

自然観察会 「伊南川の河畔林を観察しよう!」※事前申し込みが必要です  
日 時：10月25日(日) 午前9時～午後2時